

京都市、京都市景観・まちづくりセンターへ寄付
～文化財保護事業等の実施に関する三者連携協定に基づいて実施～

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金（所在地：京都市右京区、理事長：齋藤成雄、以下 当基金）は、京都の文化財保護に協力するため、京都市へ250万円、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター（以下 京都市景観・まちづくりセンター）へ50万円を寄付しました。12月11日に京都市役所（京都市中京区）にて寄付受納式が執り行われ、理事長の齋藤より門川大作京都市長、高田光雄京都市景観・まちづくりセンター理事長へ寄付金の目録を贈呈しました。



寄付受納式

寄付金の内訳

1. 市指定・登録文化財の修理 100万円
2. 「国名勝 無鄰庵庭園」の池流れの護岸整備および石燈籠の修理 150万円
3. 京町家の保全・継承に係る改修助成 50万円

この寄付は、2018年2月に京都市、京都市景観・まちづくりセンターと締結した文化財保護事業等の実施に関する三者連携協定に基づいて行われたもので、今回で7回目となります。

無鄰庵庭園は施主山縣有朋の指示に基づいて、近代日本庭園の先駆者とされる作庭家、庭師7代目小川治兵衛により作庭され、国の名勝に指定されています。せせらぎを縁取る護岸石と母屋脇の石燈籠は、無鄰庵の本質的な価値を構成する重要な要素となっています。現在、護岸石の隙間が水流により侵食され、水が漏れている箇所や、植物の根が入り込んでいる箇所などがみられ、これらは時間経過と共にさらに護岸を傷める原因と考えられることから、庭園の良好な保存のため護岸整備が行われる予定です。また、石燈籠については傾倒や毀損が見受けられ倒壊する危険性があることから、来園者の安全性の確保および石燈籠の保存のための修理に、今回の寄付金が活用されます。

当基金は、これからも京都の文化財保護活動に協力していきます。



無鄰庵庭園



背面が侵食されている護岸石



京町家（三条会商店街）

以上

[本件に関するお問い合わせ]

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金 事務局

E-mail : sczaidan@nissin.co.jp